



2010年3月4日(木)

マーケット情報

ベトナム株式市場:建設株が好調、出来高が増加

3月4日のベトナム株式市場では、VN指数が上昇したが、VH指数は反落となった。建設、建設資材株が引き続き買われたほか、輸出入関連株も好調。VN指数は+4.59ポイント(+0.9%)の511.91ポイントで取引を終了。出来高は約35%増加した。ハノイ市場のVH指数は-1.86ポイント(-1.09%)の168.36ポイント。

個別では、サコムバンク(STB)が-1.24%、サイゴン証券(SSI)が+1.15%など金融株が二極化。ベトイ鉄鋼(VIS)が+4.34%と5日続伸。ホアン・アイン・ザー・ライ(HAG)が+4.43%、ソンダ工業団地・都市投資開発(SJS)が+2.63%、ソンダタンロン(STL)が+1.62%、リコジ16(LCG)が2.01%など建設・不動産株が好調、出来高も増加。サイゴン燃料(SFC)が+4.76%と2日連続のストップ高。

トピックス

ソンダグループの銘柄:好業績、株価も注目

ベトナム全国の不動産・工業団地開発、インフラ開発(水力発電所、道路など)、工業投資、建設資材の4事業を手掛ける国営大手建設・デベロッパーのソンダ総公社(Song Da Group)は2009年の業績を発表した。売上高が18兆7150億ドン(870億円)と計画より128%上回り、前年比21%増加した。税引前利益が2兆550億ドン(95.6億円)と前年比2倍増加した。ソンダグループは100%子会社4社、50%以上を保有する子会社28社、その他の連結会社29社から成るグループ、国営グループの中でも有力グループであり、毎年民営化が進んでいる。現在ホーチミンとハノイ市場を合わせて、子会社・連結会社23社がすでに上場しており、今年もさらに子会社何社かを上場する予定。多くの案件が開発しながら、販売できる案件で、2010年の業績も大幅に伸長すると予想される。

ソンダグループの好業績を貢献する主な会社は中核子会社のベトイ鉄鋼(VIS)、ソンダ工業団地・都市投資開発(SJS)、カンドン水力発電(SJD)、第9ソンダ(SD9)などである。これら会社は規模拡大のため、有償増資・無償増資を実施し、株価も上昇する傾向があるので、注目されている。

2009年業績

SJS: 売上高が1兆3589億ドン(約63.2億円)と前年比+302%、税引後利益が7,295億万ドン(約35.4億円)と同+514%、1株利益(EPS):7,500ドン。

VIS: 売上高が2兆839億ドン(約96.9億円)と前年比+20.9%、税引後利益が2292億万ドン(約10.7億円)と同+74.7%、1株利益(EPS):8060ドン。

SJD: 売上高が2816億ドン(約13億円)と前年比+16.6%、税引後利益が1116億万ドン(約5.2億円)と同+215%。

本日の注目発表

□カレンダー

権利落ち

- 3/4 ACB 普通配当1500ドン/株、支払予定日:3/31
- 3/5 NHC 普通配当3500ドン/株、支払予定日:3/29
- 3/8 PVX 普通配当700ドン/株、支払予定日:3/26
- 3/8 ANV 普通配当500ドン/株、支払予定日:4/26
- KLS 普通配当350ドン/株、支払予定日:4/26
- 有償増資1:1、実施予定日:未定
- 3/9 TIC 普通配当700ドン/株、支払予定日:3/25
- SFC 普通配当1000ドン/株、支払予定日:3/26
- 3/10 VCB 普通配当1200ドン/株、支払予定日:4/5
- FDC 普通配当1000ドン/株、支払予定日:3/31
- 3/11 LSS 普通配当700ドン/株、支払予定日:5/20

□上場関連

- 3/5 CNT 200万株(割当分) 追加上場
- 3/19 クオンテュアンイディコ(CTI) HOSE新規上場
- 上場株数:1500万株、参考価格:2.2万ドン、初日±20%
- 3/26 ティエンロングループ(TLG) HOSE新規上場
- 上場株数:1550万株、参考価格:3.8万ドン(当初4万ドンを発表した)、初日±20%

□対VND為替レート

(出典:ベトナム銀行)

通貨	TTB	TTM	TTS	通貨	TTB	TTM	TTS
AUD	17,058	17,161	17,450	JPY	212	215	218
EUR	25,943	26,021	26,406	SGD	13,486	13,581	13,782
GBP	28,454	28,655	29,079	THB	573	573	600
HKD	2,431	2,448	2,485	USD	19,050	19,050	19,100

□内部者等株式買取・売却発表

- TRC: 監査役が5000株を売却した。
- TTF: Aureos SEA ファンドが29万株を売却、保有株数を79万2298株(3.86%)に引き下げた。
- BVS: 副社長夫人が3万3100株を売却した。
- CDC: 役員が2万株を売却、保有株数を29万293株に引き下げた。
- VSC: 09/12/7~10/2/26、サイゴン証券(SSI)が30万8700株を売却、保有株数を80万7937株(5.38%)に引き下げた。
- ACL: 会長の息子が全保有の40万株を売却するが社長がこの40万株を買い入れる予定。
- BT6: 監査役が全保有の7320株を売却する予定。
- PHT: 3/5~5/5、会長の兄弟が2万株を売却する予定。
- DCC: 3/8~5/8、監査役が8万5600株を売却、保有株数を4万株に引き下げる予定。
- ICG: 3/5~4/5、監査役が1万3100株を売却する予定。

□上場企業関連ニュース・発表

- FPT: 2010年の税引前利益が前年比20%増加する見込み。
- HOM: 2010年売上高が1兆6250億ドン、税引後利益が1650億ドン、配当13%を見込む。

オリエント証券株式会社【関東財務局長(金商)第54号】

加入協会 日本証券業協会 主な事業 金融商品取引業

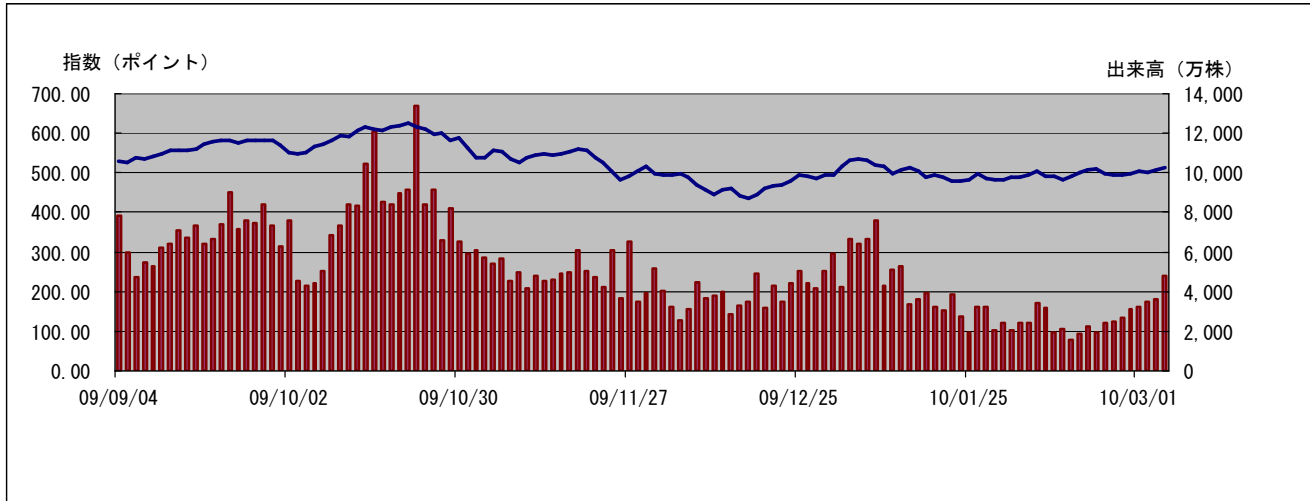
外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式への投資には、基本取扱手数料(約定代金×2.10%(最低手数料800,000ドン))(税込)が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。



□ VN 指数

VN 指数	511.91	前日比	+4.59 (+0.90%)
全出来高(万株)	5,096	値上り銘柄数	124
売買代金(百万 VND)	2,312,564	値下り銘柄数	47

□ VN 指数チャート(日足6ヶ月) ※チャート上の出来高はプットスルー分を含んでおりません。



□ HOSE 値上り・値下り上位5銘柄

値上り上位5銘柄				
コード	銘柄名	終値	前日比	売買代金
KSS	ナリハミコ鉱産	48.3	+5.00	16,358
LAF	ロンアン食品加工輸出入	19.0	+4.97	1,108
PET	ベトロベトナム総合サービス	25.6	+4.92	19,209
DIC	D I C 投資貿易	21.4	+4.90	6,017
DQC	ディエンクワン	43.0	+4.88	14,940

値下り上位5銘柄				
コード	銘柄名	終値	前日比	売買代金
APC	アンフー食品照射	26.6	-5.00	604
VNS	ビナサン	52.0	-4.59	13,610
PHT	フックティエン通商	28.2	-4.41	3,192
VNL	ビナリンク運輸通商	21.1	-4.09	490
MTG	M T ガス	11.1	-3.48	100

※終値は1千 VND、前日比は%、売買代金は百万 VND

□ HOSE 売買代金上位5銘柄

コード	銘柄名	終値	前日比	売買代金
SSI	サイゴン証券	88.0	+1.15	206,666
HAG	ホアン・アイン・ザー・ライ	82.5	+4.43	170,874
SJS	ソング工業団地・都市投資開発	78.0	+2.63	123,820
GMD	総合フォワーディング	79.5	+3.25	110,797
LCG	リコジ16	76.0	+2.01	108,272

※終値は1千 VND、前日比は%、売買代金は百万 VND

オリエント証券株式会社【関東財務局長(金商)第54号】

加入協会 日本証券業協会 主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式へのご投資には、基本取扱手数料(約定代金×2.10% (最低手数料 800,000ドン)) (税込)が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。